

ゼリア新薬工業株式会社

2011年度(2012年3月期) 第2四半期 決算説明会

2011年11月17日

代表取締役社長
伊部 幸顕



目次

I. 2011年度 第2四半期の業績(連結)

- I -1 第2四半期決算の概要(連結)
- I -2 医療用医薬品事業の状況
- I -3 コンシューマーヘルスケア事業の状況
- I -4 海外売上高(連結)
- I -5 第2四半期利益(連結)
- I -6 財務及びキャッシュフローの状況(連結)

II. 2011年度 通期の予想(連結)と下期の取り組み

- II -1 通期業績予想(連結)
- II -2 通期売上予想(連結)
- II -3 医療用医薬品通期売上予想(連結)
- II -4 アサコールの取り組み
- II -5 コンシューマーヘルスケア通期売上予想(連結)
- II -6 ヘパリーゼ群の取り組み
- II -7 アジア事業の取り組み
- II -8 通期利益予想(連結)

* 参考 新薬パイプラインの状況

I . 2011年度 第2四半期の業績(連結)

I -1 第2四半期決算の概要(連結)

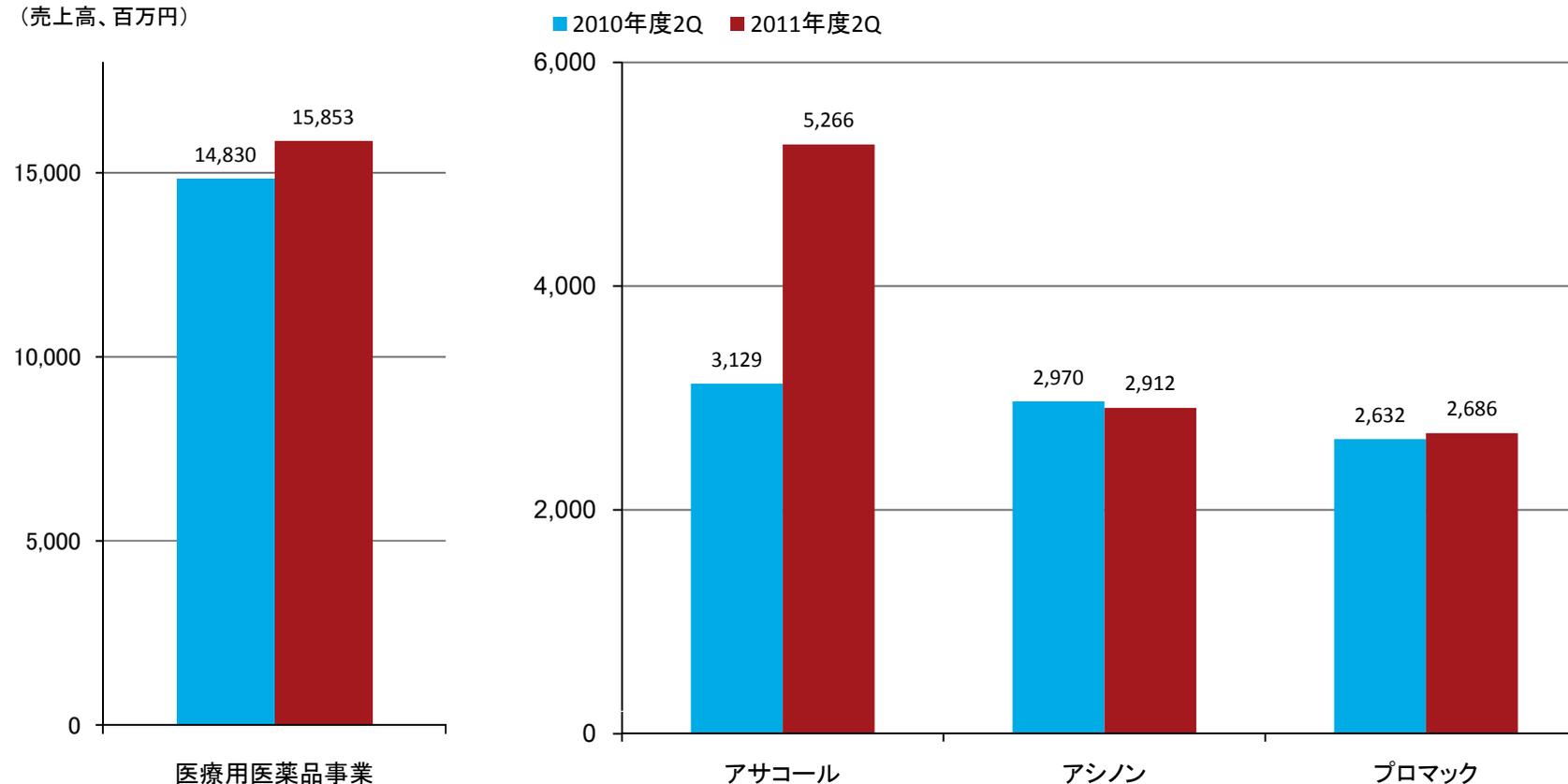
◆ 売上高は7.3%の増収。営業利益は45.8%、当期純利益は47.0%の大幅増益。

	2010年度 2Q累計		2011年度 2Q累計				
	実績	売上比	実績	売上比	前年伸率	期初予想	差額
(単位:百万円)							
売上高	24,786	100.0%	26,587	100.0%	7.3%	26,500	87
売上総利益	15,497	62.5%	17,214	64.7%	11.1%	—	—
販売管理費	13,654	55.1%	14,526	54.6%	6.4%	—	—
営業利益	1,843	7.4%	2,688	10.1%	45.8%	1,900	788
経常利益	1,854	7.5%	2,611	9.8%	40.8%	1,900	711
当期純利益	1,190	4.8%	1,750	6.6%	47.0%	1,250	500
研究開発費	2,751	11.1%	2,411	9.1%	△12.3%	—	—
海外売上高	2,998	12.1%	3,723	14.0%	24.2%	—	—
一株当り配当	9円	—	11円	—	(前年差)2円	10円	1円

I -2 医療用医薬品事業の状況

- ◆ 売上高は前同比10億円(6.9%)の増収。
 - アサコールの国内外での伸長が主要因。
 - プロマック、レシカルボンも伸長。

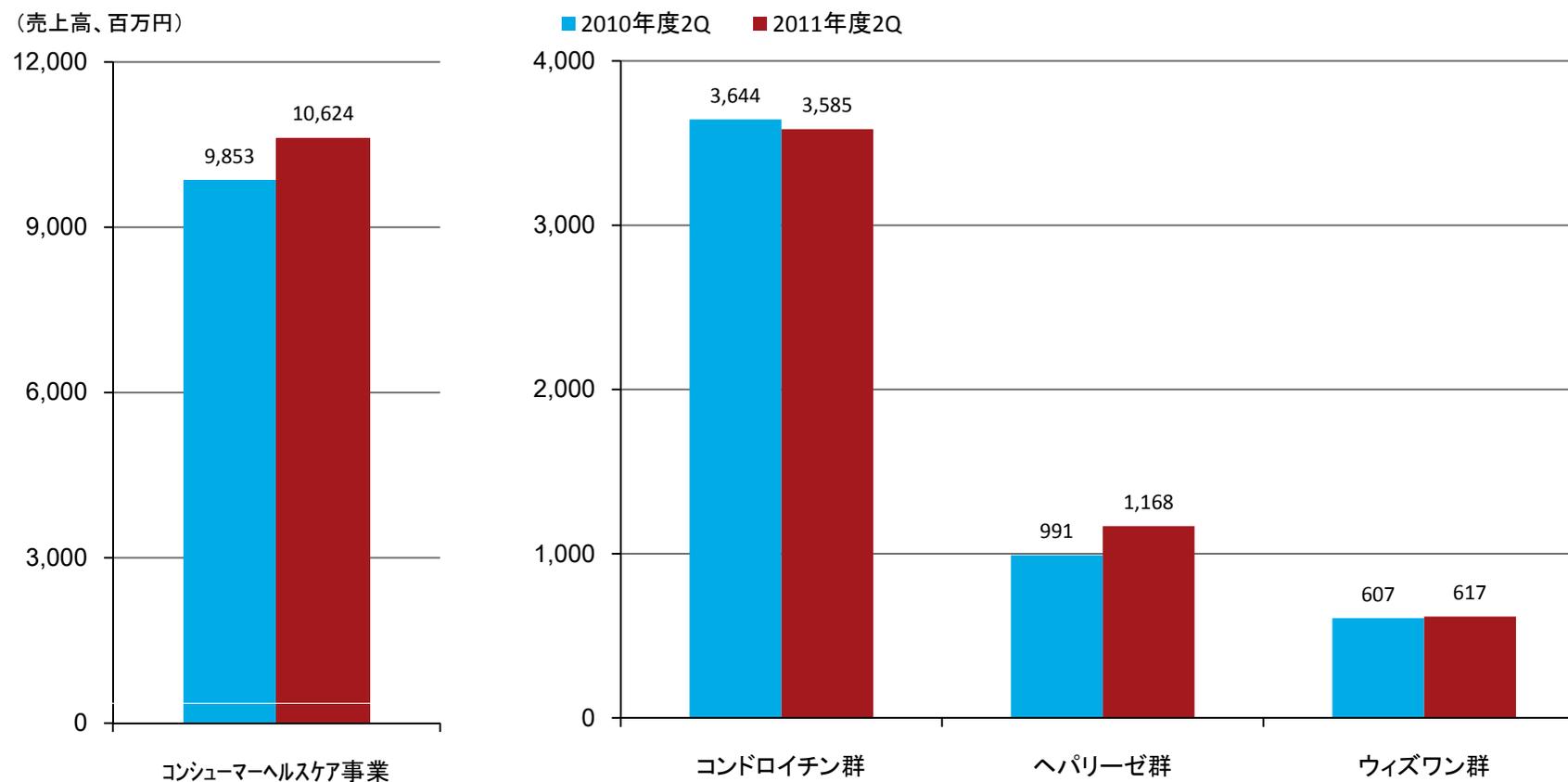
(売上高、百万円)



I -3 コンシューマーヘルスケア事業の状況

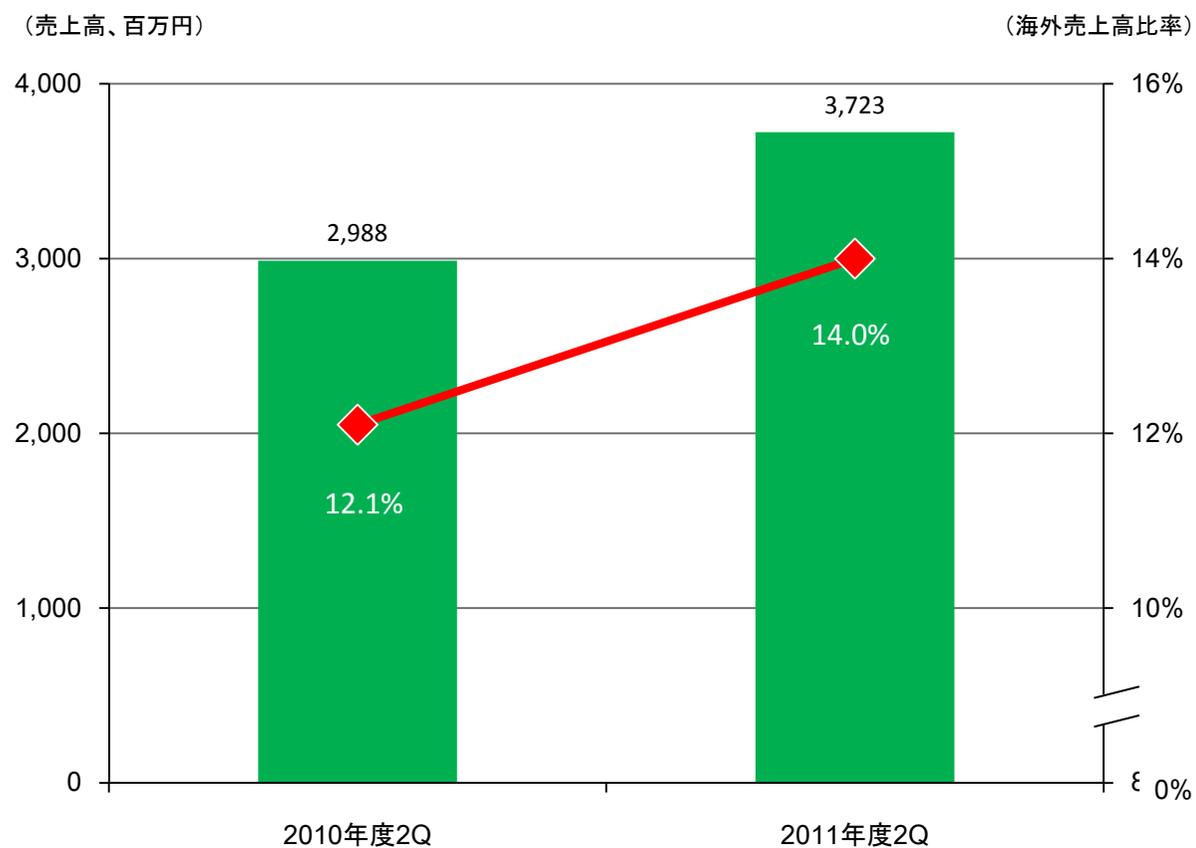
- ◆ 売上高は前同比7.7億円(7.8%)の増収。
 - ヘパリーゼ群、ウイズワン群は伸長。
 - 昨年9月子会社化したバイオフィック・エスビアウ社の連結が寄与。

(売上高、百万円)



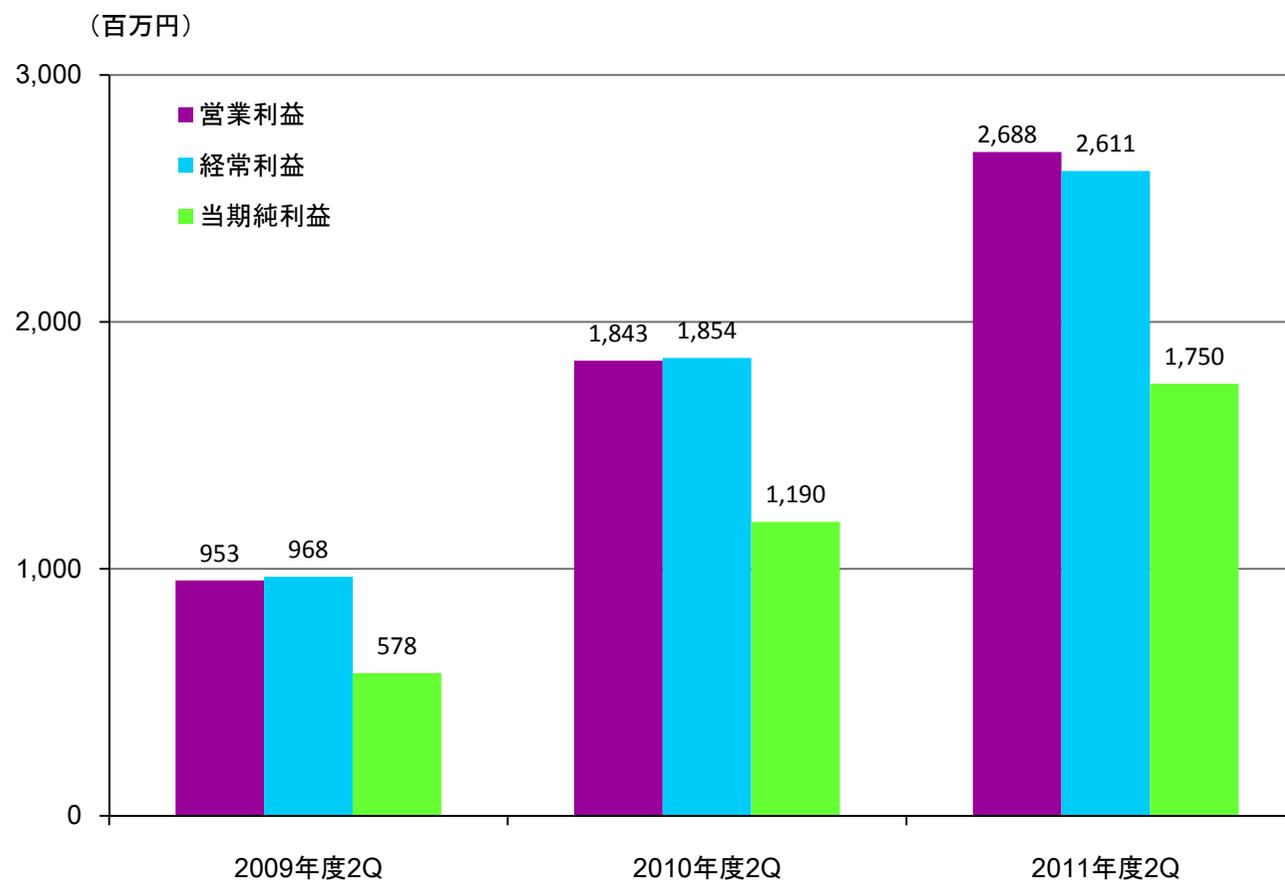
I -4 海外売上高(連結)

◆ 連結海外売上高比率は、前年同期の12.1%から、当期14%に増大。



I -5 第2四半期利益(連結)

- ◆ ティロツツ社の好業績が寄与。
- ◆ 国内外アサコール、ヘパリーゼの伸長。
- ◆ 営業利益、経常利益、当期純利益とも大幅増益基調を継続。



I -6 財務及びキャッシュフローの状況(連結)

◆ 財務の状況

(単位:百万円)	2010年度末	2011年度 2Q累計	増減
総資産	73,779	75,772	1,993
純資産	28,423	30,166	1,743
自己資本比率	38.4%	39.6%	1.2%
一株当たり純資産	684.87円	726.33円	41.46円

◆ キャッシュフローの状況

(単位:百万円)	2010年度2Q累計	2011年度 2Q累計	増減
営業活動によるCF	2,076	2,529	453
投資活動によるCF	△5,039	△1,086	3,953
財務活動によるCF	3,802	△1,079	△4,881
換算差額	△119	298	417
現金等増減額	719	661	△57
現金等期末残高	4,161	5,478	1,317

Ⅱ. 2011年度 通期の予想(連結)と 下期の取り組み

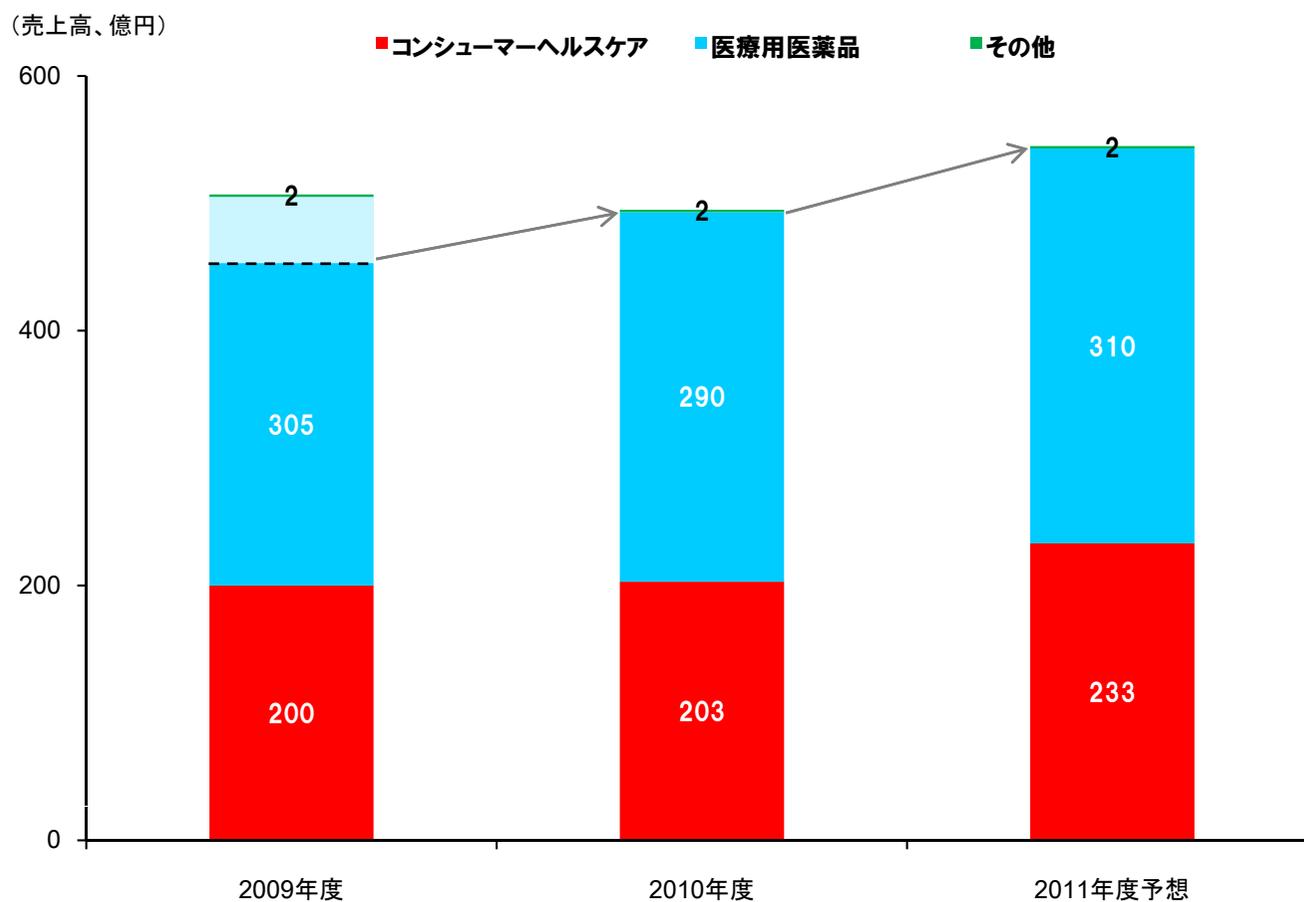
Ⅱ-1 通期業績予想(連結)

◆ 当初(2011年5月17日)予想値に対し、営業利益・経常利益・当期純利益を上方修正。

	2010年度		2011年度通期予想				
	実績	売上比	今回予想	売上比	前年伸率	期初予想	差額
(単位:百万円)							
売上高	49,482	100.0%	54,500	100.0%	10.1%	54,500	0
営業利益	3,311	6.7%	3,900	7.2%	17.8%	3,500	400
経常利益	3,158	6.4%	3,800	7.0%	20.3%	3,500	300
当期純利益	1,842	3.7%	2,500	4.6%	35.7%	2,250	250
研究開発費	5,281	10.7%	6,000	11.0%	13.6%	6,000	0
海外売上高	5,645	11.4%	6,700	12.3%	18.7%	6,700	0
一株当り配当	19円	—	22円	—	(前年差)3円	20円	2円

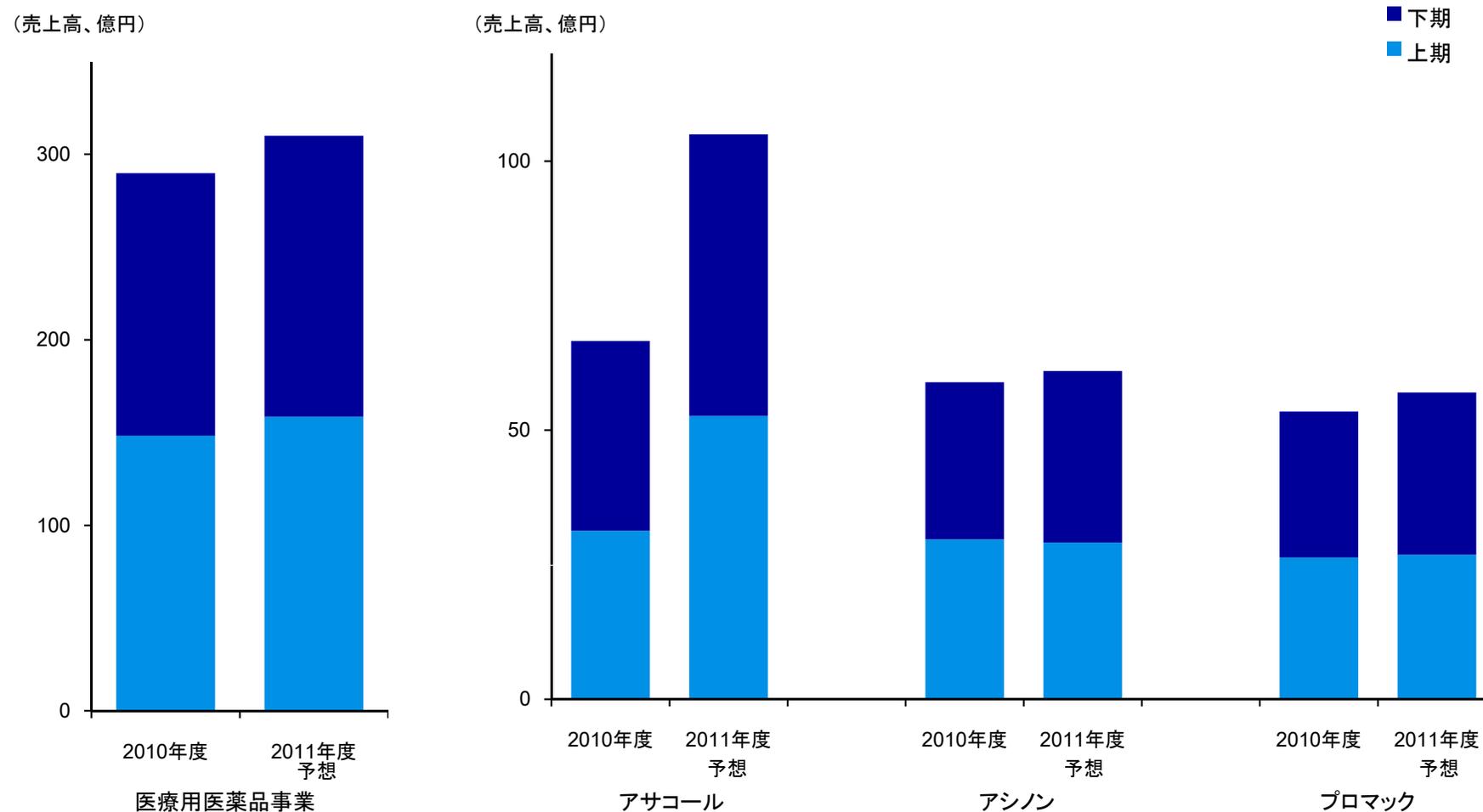
Ⅱ-2 通期売上予想(連結)

- ◆ 当初計画通りの進捗を想定し、545億円、対前年比10.1%の連結売上高を見込む。
- ◆ 第7次中期経営計画の売上高伸率目標値、年10%以上達成を予想。



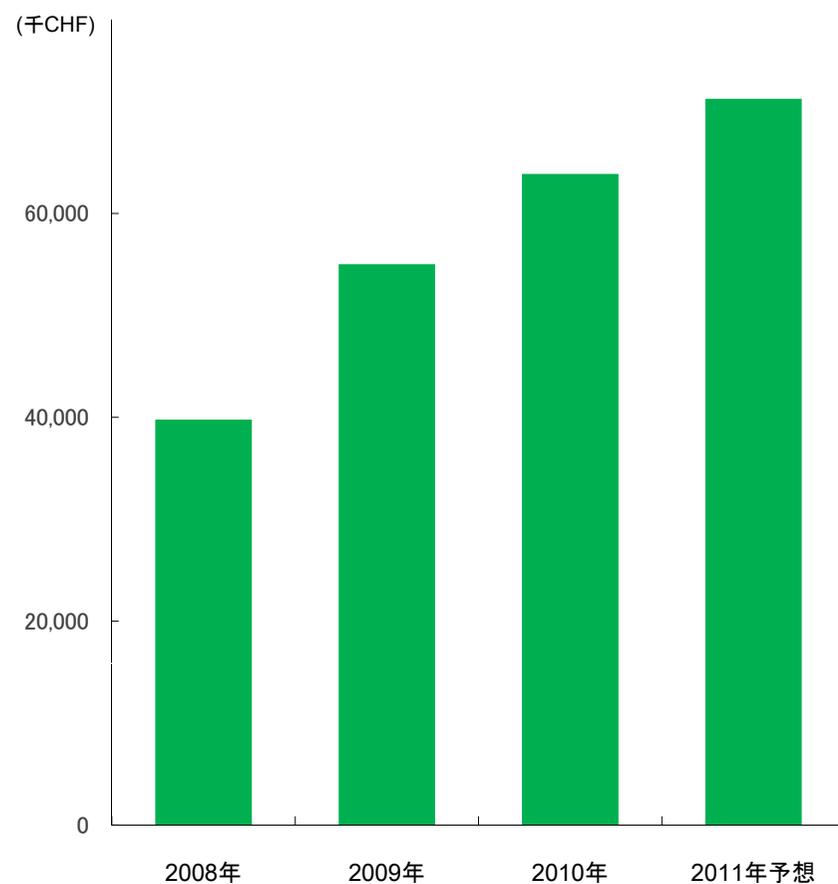
Ⅱ-3 医療用医薬品通期売上予想(連結)

◆ 医療用医薬品では、国内外でのアサコールの継続的成長が牽引すると想定。

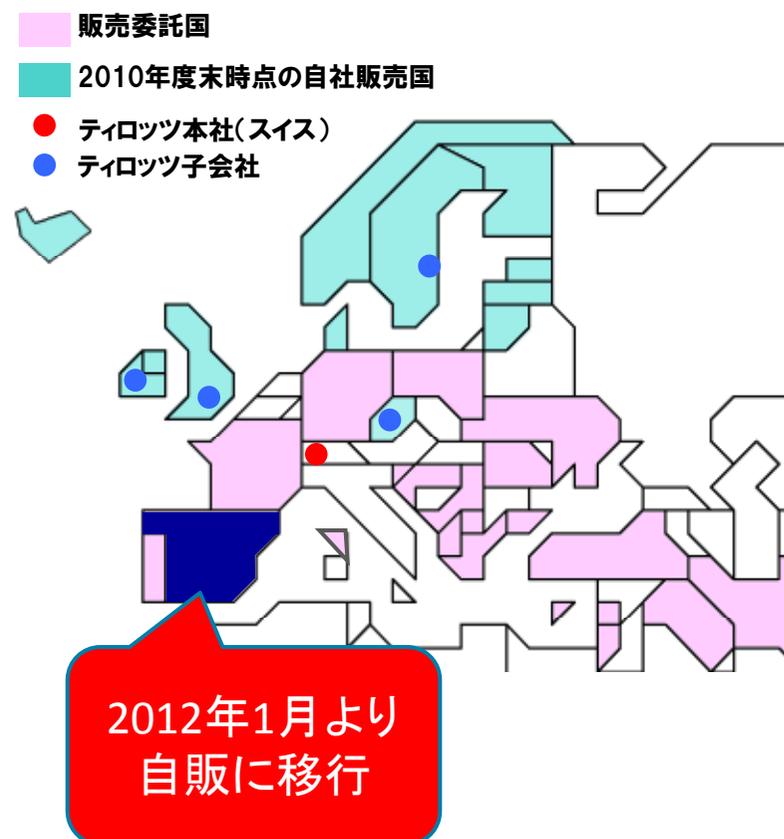


Ⅱ-4 アサコールの取り組み①

◆ 海外では自販地域での販売を促進するとともに、自販地域の拡大を継続。



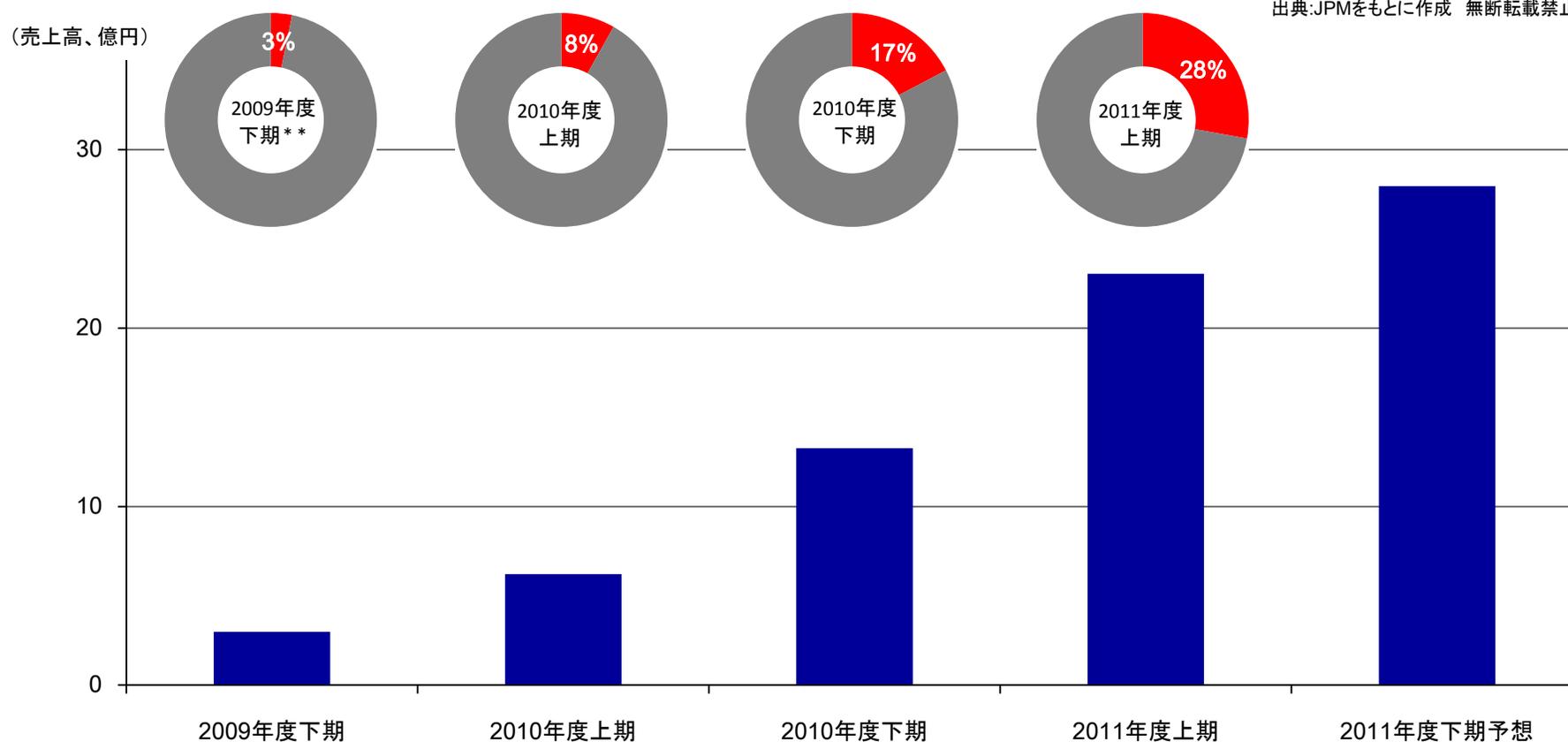
ティロツツ社アサコール売上高推移



Ⅱ-4 アサコールの取り組み②

◆ 国内は2011年1月の処方期間制限解除により大幅に伸長したことを受け、協和発酵キリンと合わせ、早期に経口5-ASA製剤シェア50%を目指す。

国内アサコールシェア* (薬価売上高ベース、ゼリア+協和発酵キリン)



* : 腸内抗炎症剤の経口5-ASA製剤に対して

** : アサコール上市後の2009年12月以降

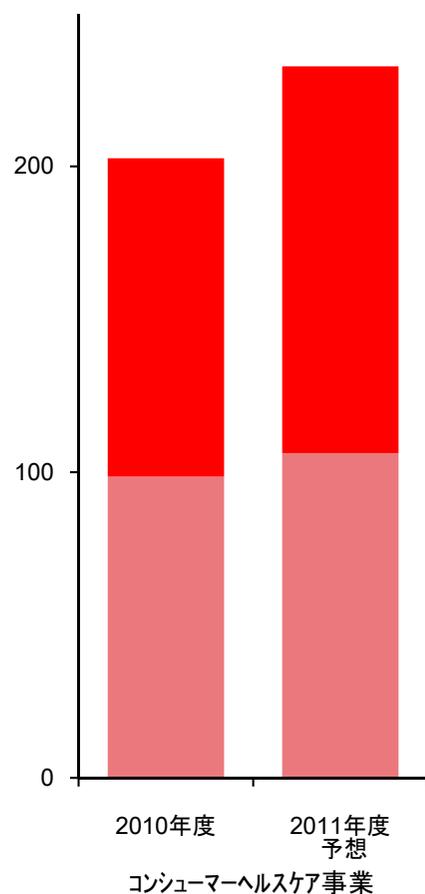
Copyright 2011 IMS ジャパン株式会社
出典:JPMをもとに作成 無断転載禁止

当社国内アサコール売上高

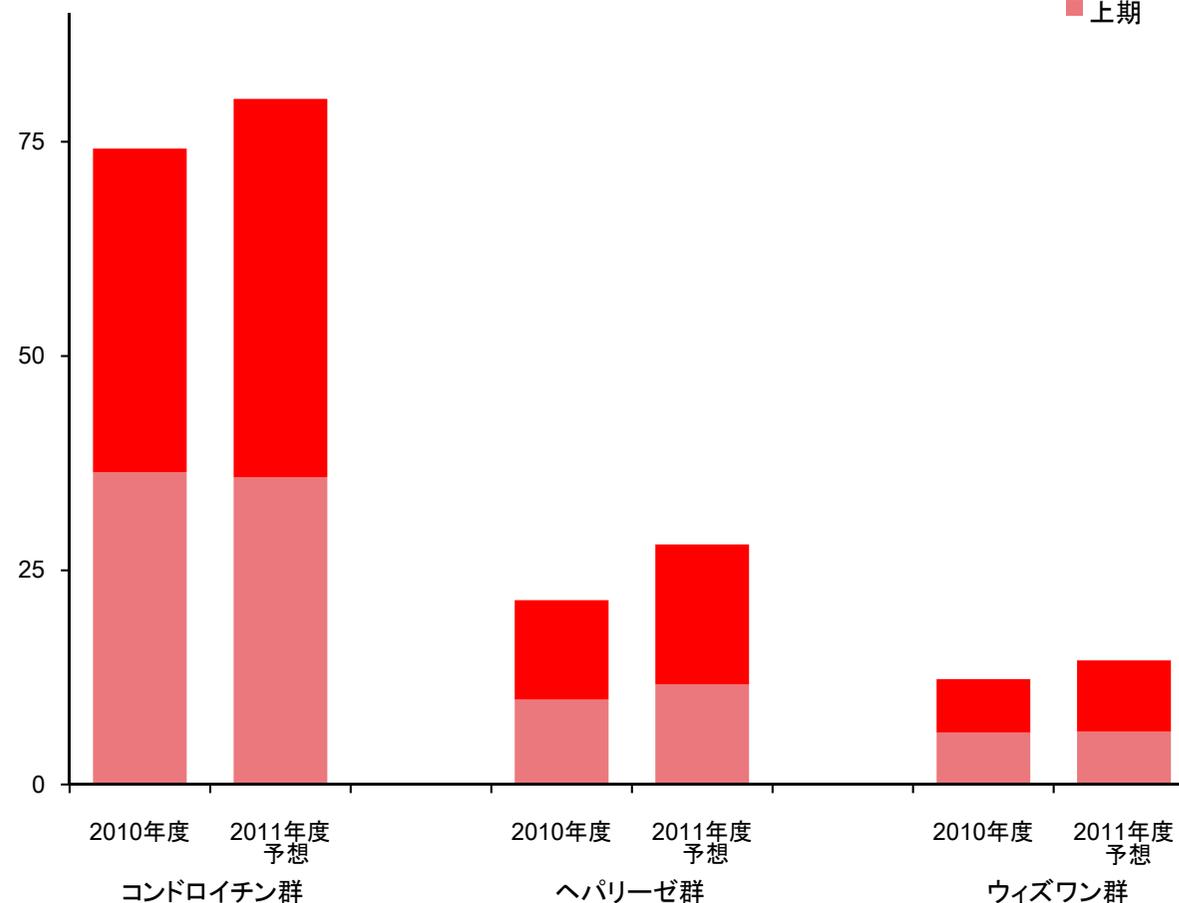
Ⅱ-5 コンシューマーヘルスケア通期売上予想(連結)

- ◆ コンシューマーヘルスケアでは、需要期に向けて、広告宣伝投資の拡大等により、コンドロイチン群、ヘパリーゼ群の売上拡大を見込む。

(売上高、億円)



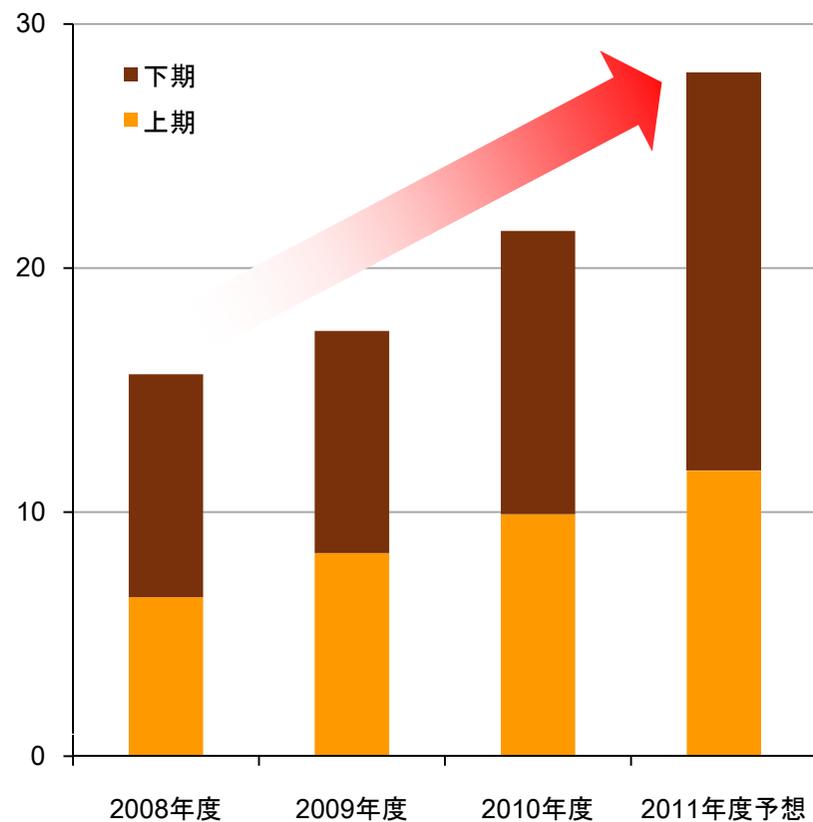
(売上高、億円)



Ⅱ-6 ヘパリーゼ群の取り組み①

- ◆ ヘパリーゼは第2のナショナルブランドに向けて、順調に伸長(前同比18%増)。
- ◆ 2011年7月から、新ヘパリーゼドリンクテレビCM第2弾放映開始。

(売上高、億円)



Ⅱ-6 ヘパリーゼ群の取り組み②

- ◆ 清涼飲料『ヘパリーゼW(ダブル)』でコンビニ市場開拓。



11月下旬から、セブン-イレブン、ローソン他、全国のコンビニエンスストアで販売開始

「新ヘパリーゼドリンク」のテレビCMと連動した、川平慈英さんを起用した交通広告を全国で展開

Ⅱ-7 アジア事業の取り組み

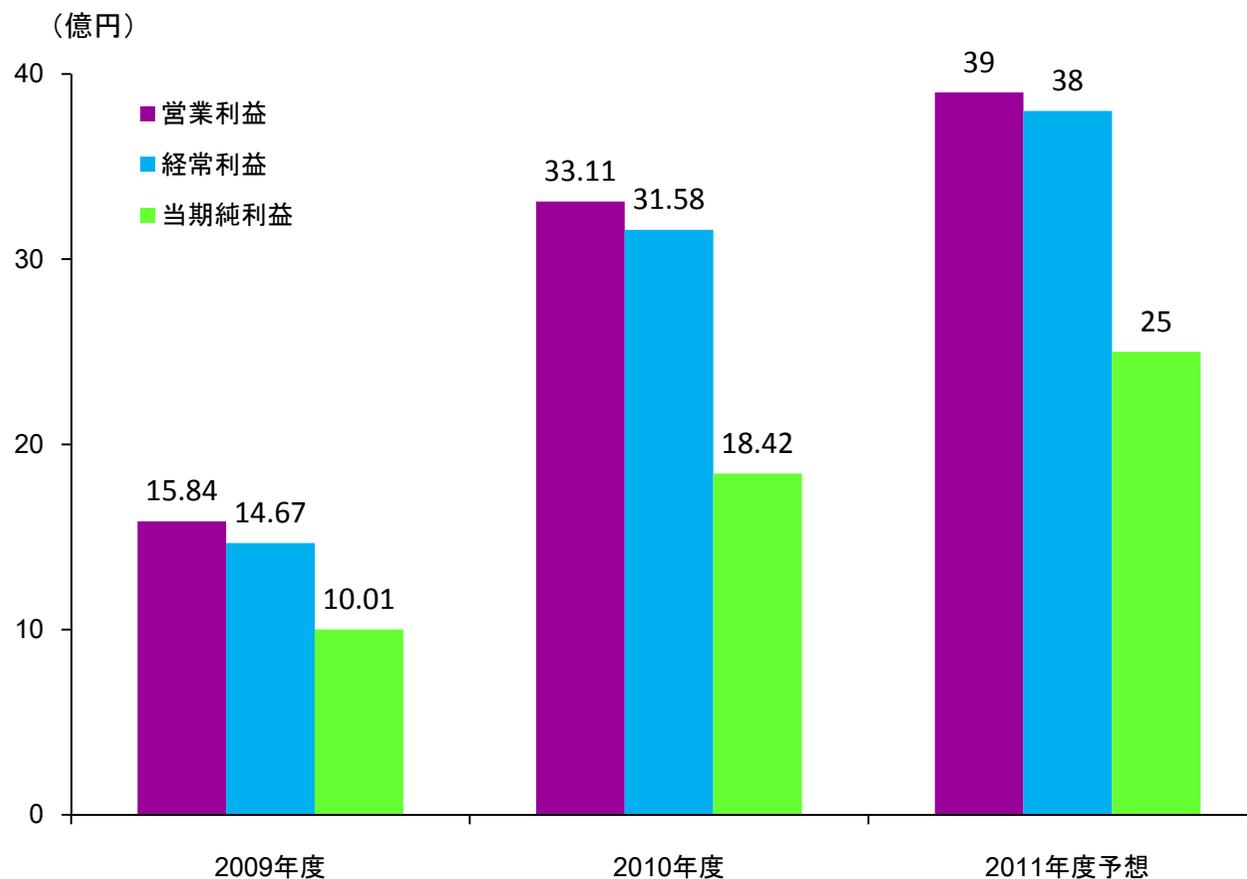
◆ アジア事業展開のポイント

- 医療用医薬品事業 : グローバル製品「アサコール」を中核に事業展開。
- コンシューマーヘルスケア事業 : 自社製品群を活かし、各市場に合ったOTC 医薬品、(CHC) イオナ化粧品、機能性食品等の販売を展開。

中 国	<p>“拠点設立”も視野に詳細事業計画を検討中。</p> <p>医療用:アサコール(潰瘍性大腸炎)第Ⅲ相臨床試験を実施中。</p> <p>CHC : 2012年中に第一号製品の販売開始を目指す。</p> <p>イオナ化粧品の販売展開を検討中。</p>
韓 国	<p>医療用:プロマック(SK Chemicals)の上市準備中。</p> <p>CHC : OTC医薬品2品目を販売開始へ。</p>
そ の 他 ア ジ ア 諸 国	<p>新たな事業展開を検討中。</p>

Ⅱ-8 通期利益予想(連結)

- ◆ 海外子会社の業績が引き続き順調に推移し、収益増に寄与。
- ◆ 通期においても、営業利益・経常利益・当期純利益は大幅増益を予想。



新薬パイプラインの状況

国内消化器系分野

開発番号	自社/導入	開発	開発段階	適応症	作用機序および特長	一般名
Z-338	自社オリジナル 予定製品名 アコファイド	共同開発 (アステラス製薬)	申請中	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	アコチアミド
Z-103	導入	自社開発	フェーズⅢ	味覚障害 「プロマック」効能追加	亜鉛補充	ポラプレジック
Z-208	導入	共同開発 (テムリック)	フェーズⅠ/Ⅱ	肝細胞癌	レチノイン酸RAR α 受容体作動作用	タミバロテン
Z-206	自社グループオリジナル	共同開発 (協和発酵キリン)	フェーズⅡ	クローン病 「アサコール」効能追加	pH依存型放出調整製剤	メサラジン

国内その他

開発番号	自社/導入	開発	開発段階	適応症	作用機序および特長	一般名
Z-100	自社オリジナル	自社開発	フェーズⅢ 追加試験	子宮頸癌 「アンサー」効能追加	免疫調節作用	-
Z-521	自社オリジナル	自社開発	フェーズⅢ	低リン血症性くる病	リン酸補充 未承認薬開発支援対象	-
Z-207	導入	自社開発	フェーズⅡ	アレルギー性鼻炎	粘膜組織凝固・収縮作用 エタノール・ステロイド配合剤	-

海外

開発番号	自社/導入	開発	開発段階	適応症	作用機序および特長	一般名
Z-103	導入	導出 (SK Chemicals)	承認 (韓国)	胃炎・胃潰瘍 「プロマック」	胃粘膜保護作用	ポラプレジック
Z-206	自社グループオリジナル	共同開発 (Tillotts Pharma)	フェーズⅢ (中国)	潰瘍性大腸炎 「アサコール」	pH依存型放出調整製剤	メサラジン
Z-338	自社オリジナル	自社開発	フェーズⅢ準備中 (欧州)	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	アコチアミド
Z-338	自社オリジナル	自社開発	フェーズⅡ終了 (北米)	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	アコチアミド
Z-360	自社オリジナル	自社開発	フェーズⅡ準備中 (欧州)	膵臓癌	ガストリンCCK $_2$ 受容体 拮抗作用	-

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

お問合せ先: 広報部 森山まで
Tel. 03-3661-1039 Fax. 03-3663-4203